



Title	諸君
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2018, 13, p. 50-53
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71860
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

諸君

1 卷 1 号 (1969.7) ~ 41 卷 6 号 (2009.6), 東京: 文藝春秋社

8 卷 1 号 (1976.1) ~ 14 卷 12 号 (1982.12)

大阪大学附属総合図書館（調査：岡野翔太，2018年7月）

8 卷 1 号~2 号

なし

8卷3号(1976年3月)

一つの時代が終わった（衛藤瀋吉，中嶋嶺雄）

江青伝：毛沢東背後の夫人（F・モイラー）

周恩来の遺産（柴田穂）

予言者を助け続けた男（鳥居民）

8卷4号(1976年4月)

江青伝：文革と“女の闘い”（F・モイラー）

8 卷 5 号 (1976 年 5 月)

なし

8卷6号 (1976年6月)

天安門事件の背景（早瀬敏）

8 卷 7 号~11 号

なし

8卷12号(1976年12月)

江青事件報道・またしても…（加藤明彦）

9 卷 1 号 (1977 年 1 月)

毛沢東「万歳！」と「万碎！」（佐藤愼一郎）

9 卷 2 号~6 号

なし

9卷7号(1977年7月)

鄧小平復活のブレーキ (柴田穂)

9卷8号(1977年8月)

なし

9 卷 9 号 (1977 年 9 月)

佐藤駐中国大使の初仕事（永野信利）

9 卷 10 号（1977 年 10 月）

華国鋒の中国・鄧小平の中国（中嶋嶺雄）

9 卷 11 号（1977 年 11 月）

四人組追放で NO.5・汪東興（伴野朗）

9 卷 12 号～10 卷 4 号 なし

10 卷 5 号（1978 年 5 月）

毛沢東を入れて「五人組」（C・ブロワイエール, J・ブロワイエール）

日本経済に接近する中国（長谷川慶太郎）

10 卷 6 号（1978 年 6 月）

「尖閣列島」への少数意見（佐瀬昌盛）

10 卷 7 号～9 号 なし

10 卷 10 号（1978 年 10 月）

日中条約・匿された方位（岡部達味, 宇佐美滋）

10 卷 11 号（1978 年 11 月） なし

10 卷 12 号（1978 年 12 月）

最新資料の中の鄧小平を紹介します（内藤雄三）

中国：日本経済の巨大な賭け（長谷川慶太郎）

11 卷 1 号（1979 年 1 月） なし

11 卷 2 号（1979 年 2 月）

「毛沢東神話」の逆説（中嶋嶺雄）

中国は墮落している（新島淳良）

11 卷 3 号（1979 年 3 月） なし

11 卷 4 号（1979 年 4 月）

「反文革」の波の中を（林健太郎）

11 卷 5 号（1979 年 5 月）

知識人にとっての「中国とベトナム」（中嶋嶺雄, C・カダール, 程映湘）

11 卷 6 号～9 号 なし

11 卷 10 号（1979 年 10 月）

不幸な日中関係の「もしも」(岩井利夫)

北京は中華民国を承認する：鄧小平は台湾独立を保障する無数のブ
ックサインを出している（岡田英弘）

お帰りなさい劉少奇：こうして文化大革命の幕は降りた（宇佐美滋）
 学生の手で見た中国（池井優）

宴のあとの中国論（岡崎久彦）

中国の壮大な実験「産むな増やすな」(片桐為精)
さようなら毛沢東 (宇佐美滋)

政治学は現代を救えるか？（衛藤瀋吉，中嶋嶺雄など）

日本の四人組は何処へ行った？今、ひたすら逃げまわる文革礼賛派文化人銘々伝（西義之）

13 卷 10 号（1981 年 10 月）

中国人留学生たちのニッポン拝見（西義之）

13 卷 11 号～14 卷 8 号 なし

14 卷 9 号（1982 年 9 月）

米中国交回復十年目の摩擦（宇佐美滋）

14 卷 10 号（1982 年 10 月）

読者が逃げていった中国報道偏向の失敗（佐々克明）

教科書問題をどう思いますか（伊藤喜久蔵ほか）

14 卷 11 号～12 号 なし